

年金シニアプラン総合研究機構の沿革

昭和 53 (1978) 年	2 月	厚生省、厚生年金基金連合会、厚生年金基金及び民間企業の協力を得て設立 初代理事長に山本正淑氏就任 (名称：財団法人年金制度研究開発基金)
	11 月	機関誌「年金研究」創刊号発行
昭和 56 (1981) 年	2 月	会長に山本正淑氏、理事長に伊部英男氏がそれぞれ就任
昭和 57 (1982) 年	10 月	機関誌の「年金研究」を「年金と雇用」に改称 (第1巻第1号 (創刊号) 発行)
昭和 63 (1988) 年	4 月	財団設立10周年記念講演会を開催。「基金10年のあゆみ」を刊行
平成 2 (1990) 年	7 月	財団の名称を「年金制度研究開発基金」から「年金総合研究センター」と改称
平成 10 (1998) 年	3 月	センター20周年記念号「わが国の公的及び私的年金の現状」発刊
平成 13 (2001) 年	3 月	会長に貝塚啓明氏、理事長に坂本龍彦氏がそれぞれ就任
		事務所を港区虎ノ門に移転
	4 月	事業範囲を拡充、改組して再スタート (従来の年金制度の研究と普及啓発の実施に加え、年金資金運用に関する研究と普及啓発を新たに実施。併せて研究体制の整備等を行った。)
	12 月	機関誌の「年金と雇用」を年金制度と年金資金運用に関する総合研究誌「年金と経済」に改称
平成 15 (2003) 年	2 月	センター25周年記念「25年のあゆみ」発刊
平成 18 (2006) 年	7 月	理事長に加藤栄一氏が就任
		シニアプラン開発機構との統合に伴い、名称を「年金シニアプラン総合研究機構」と改称。年金生活に関する調査研究なども事業の範囲に明示した。
	11 月	事務所を港区高輪に移転
平成 24 (2012) 年	4 月	内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人に移行
	6 月	評議員会会長に貝塚啓明氏、理事長に堀勝洋氏が就任
平成 26 (2014) 年	6 月	理事長に西村周三氏が就任
平成 29 (2017) 年	3 月	評議員会会長に神代和俊氏が就任
平成 30 (2018) 年	2 月	設立40周年記念 年金シニアプランフォーラム「これまでの40年、これからの40年」開催
	6 月	理事長に高山憲之氏が就任
平成 31 (2019) 年	3 月	評議員会会長に西村周三氏が就任